

平成29年度事業活動報告（委員会活動状況）

1. マンション用玄関ドアの耐用年数の技術的研究 【継続事業】

(1) マンション玄関ドアの耐用年数に関する各試験結果のとりまとめ実施

① 下記各試験の結果検証について、集約取り纏めを行った。（結果は29年7月理事会で報告済み）

＊耐候性試験（サンシャインウエーザー試験 4000H）

＊耐食性試験（中性塩水噴霧試験 1000H 及び複合サイクル試験 8H×100 サイクル）

＊耐久性試験（20 万回開閉繰り返し試験：新設枠とカバー枠）

＊耐久性試験（屋外暴露試験：淡路、滑川、小山 継続中。現在2年超経過）

② 「マンション用玄関ドアに関する耐用年数ガイドライン」の構成案作成。

(2) 日本ロック工業会との共同体制の構築

上記ガイドライン作成検討段階7において、錠前部分の異種金属腐食の影響の追加検証を行う必要性を感じ、日本ロック工業会の協力を仰ぎ、錠前メーカーの異種金属腐食対策品の実態を調査し、今年6月より淡路で鋼板3種類と錠前57種類について比較検証試験を開始できるまで進めた。

(3) 塩害仕様玄関ドアについての研究

各社の塩害対策玄関ドアの仕様、塩害地に関する考え方を収集し、今後塩害対策品に関する基準作成の基になる情報を収集した。また、各社錆クレーム事例を収集し、錆クレームMAPを作成し、情報共有化を図った。

2. ホームページの充実 【継続事業】

会員専用ページの出荷統計分析結果を充実させ、用途別・需要比率等明確にした。

3. 勉強会開催 【継続事業】

《会員各位の玄関ドアに関連する部品の勉強会を開催し、スキル向上等を図った》

・大日本印刷(株)に来訪し、クロメートフリー化状況（エリオ鋼板及び鋼板メーカーの情報）を把握した。

4. その他（関連団体、業界動向への対応）

① ALIA、BL 等で「玄関ドア付加価値向上委員会」が立ち上げられ、鋼軽協としても委員を派遣した。

【第 1 号議案】

- ②サッシ協会の省エネ検討WG 情報として、ドアの熱貫流簡易計算方法の適用について概要説明された。ただし、その適用については、今後の情勢を鑑み検討事項とした。
- ③東京都建築工事標準仕様書で懸案となっていた「工場錆止め塗装 2 回塗り」が 29 年版仕様書より、工場は 1 回塗りに改善された。サッシ協、日塗工との共同で働きかけた成果物である。

以上